

資料-2

# 札幌開発建設部 ダム事業費等監理委員会資料 ～雨竜川ダム再生事業～

令和7年8月6日  
国土交通省 北海道開発局  
札幌開発建設部

1. 雨竜川ダム再生事業について
2. 事業の進捗状況について
3. 事業費・工程に影響を与える可能性がある事象
4. 事業費の状況について
5. まとめ

# 1. 雨竜川ダム再生事業について

# 1. 雨竜川ダム再生事業について

## 雨竜川ダム再生事業概要

雨竜川ダム再生事業は、既設の発電ダム（雨竜第1ダム・雨竜第2ダム）の利水容量のうち、一部を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第2ダムの嵩上げと合わせて約2,500万m<sup>3</sup>の洪水調節容量を確保し、治水機能を付加することを目的としています。

### <事業内容>

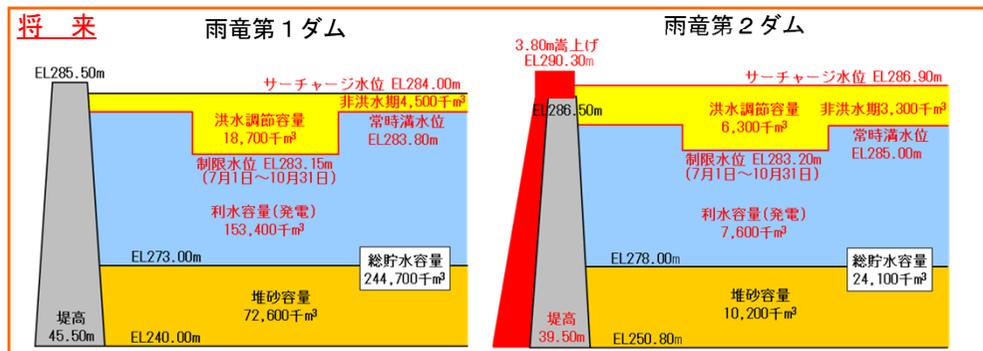
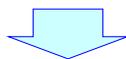
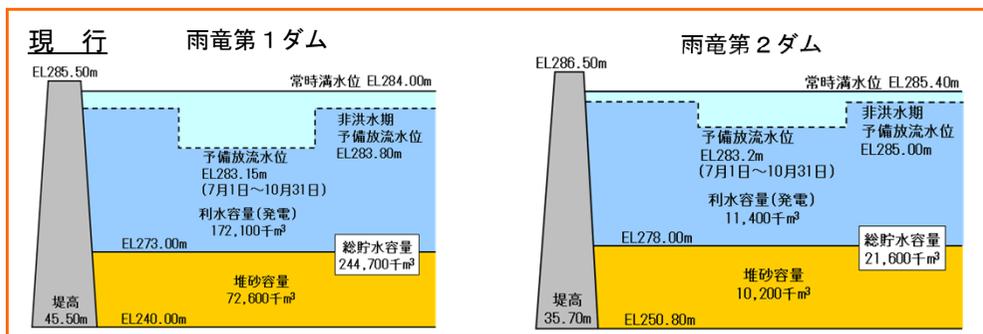
- 目的 : 洪水調節
- 雨竜第1ダム : 容量振り替え（洪水調節容量 18,700千m<sup>3</sup>）
- 雨竜第2ダム : 容量振り替え+嵩上げ3.8m  
（洪水調節容量 6,300千m<sup>3</sup>）
- 事業工期 : 平成30年度～令和15年度
- 総事業費 : 約449億円
- 執行状況 : 令和6年度まで 約164億円（約37%）  
令和7年度予算 約27億円



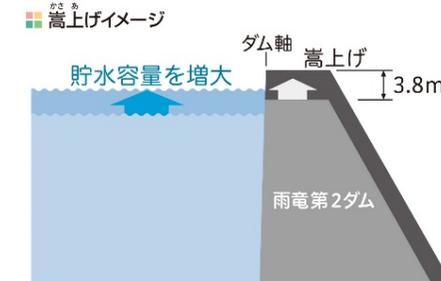
再生後諸元表

名称	型式	ダム高 (m)	堤頂長 (m)	総貯水容量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水容量 (千m <sup>3</sup> )	集水面積 (krf)
雨竜第1ダム	重力式コンクリートダム	45.5	216.0	約244,700	約172,100	202.5
雨竜第2ダム	重力式コンクリートダム	39.5 (35.7)	255.7 (230.0)	約24,100 (約21,600)	約13,900 (約11,400)	109.7

( ) 再生前の諸元



### 雨竜第2ダム 下流面図

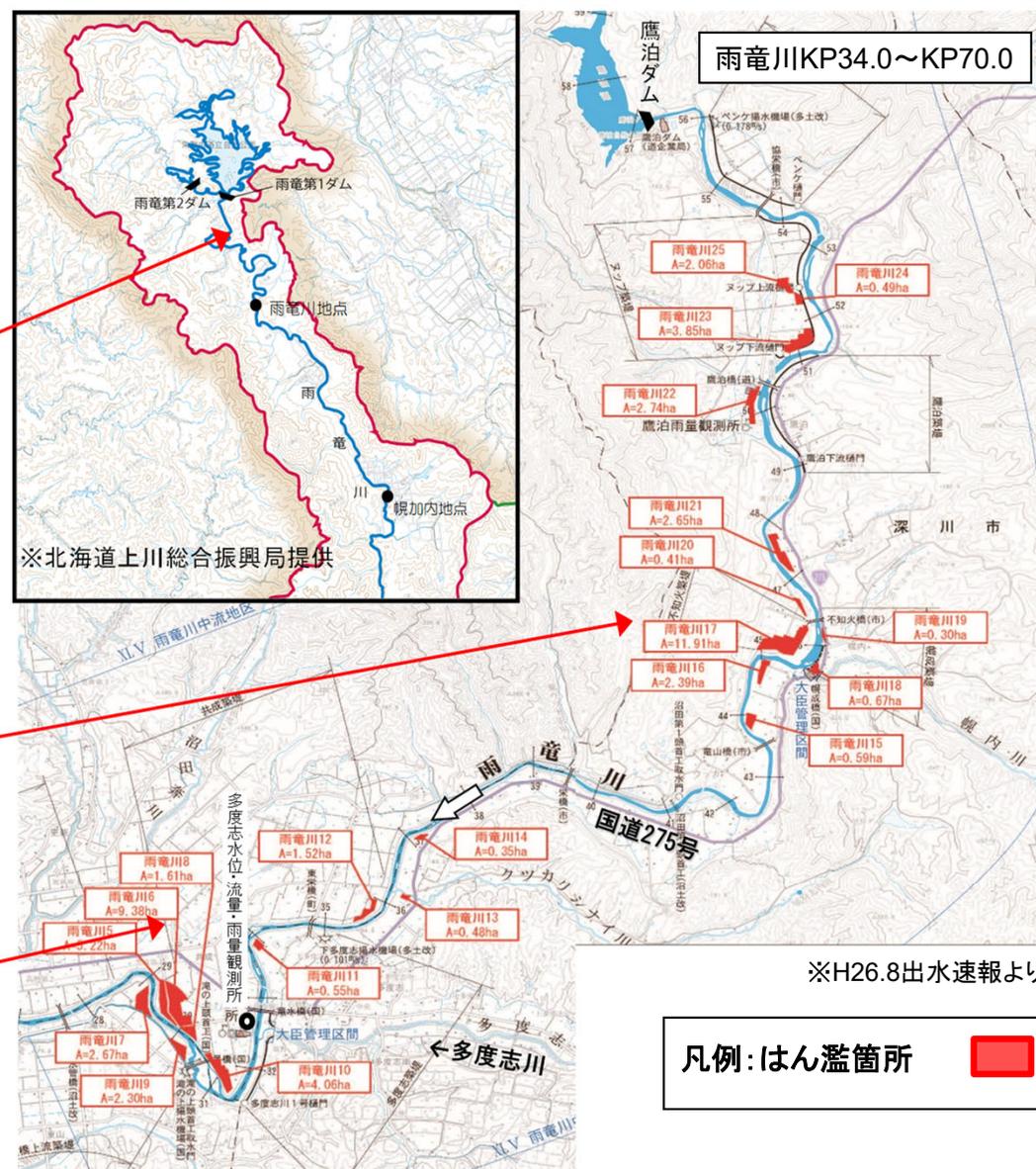
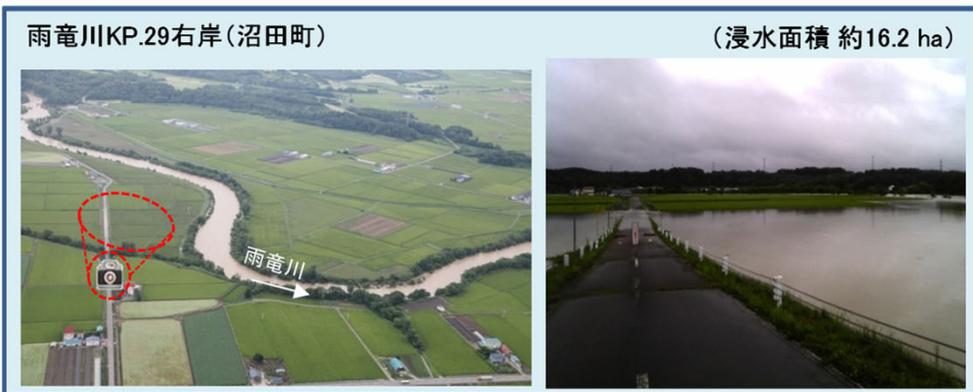
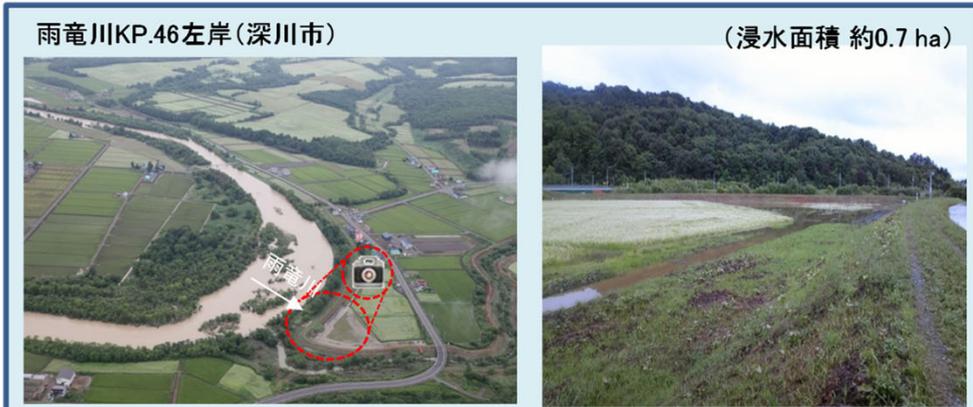


ダムの形状は現在設計中のため、変更する場合があります

1. 雨竜川ダム再生事業について

平成26年8月出水の被災状況

- 直轄管理区間では、浸水面積約68ha（35箇所）、家屋の床上浸水が11棟確認されました。
- 北海道管理区間でも、約213haの農地（そば畑）の浸水被害が確認されました。



## 1. 雨竜川ダム再生事業について

# 雨竜川ダム再生事業の経緯

昭和18年	8月	雨竜第1ダム、雨竜第2ダム完成
昭和63年	8月	停滞性前線による洪水発生(下流部で戦後最大)
平成16年	6月	「石狩川水系河川整備基本方針」策定(H16.6.15)
平成19年	5月	「石狩川水系雨竜川河川整備計画」策定(H19.5.9)
平成26年	8月	低気圧・前線・台風による洪水発生(整備計画目標流量を上回る・中上流部で戦後最大)
平成29年	7月	「石狩川水系雨竜川河川整備計画」変更(H29.7.6)「既設ダムである雨竜第1ダム・第2ダムを有効活用し、新たに洪水調節機能を確保する」と位置づけ
平成29年	8月	「雨竜川ダム再生事業」新規事業採択
平成30年	4月	「雨竜川ダム調査事業所」設置 実施計画調査着手
令和2年	8月	「雨竜川ダム再生事業」再評価
令和4年	8月	「石狩川水系雨竜川河川整備計画」変更(R4.8.8)、「発電容量の一部を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第2ダムの嵩上げと合わせて約2,500万m <sup>3</sup> の洪水調節容量を確保」
令和4年	8月	「雨竜川ダム再生事業」ダム事業の新規事業採択時評価
令和5年	4月	「雨竜川ダム再生事業」建設移行
令和5年	8月	「雨竜川ダム再生事業」再評価
令和7年	3月	雨竜第2ダム堤体建設第1期工事にかかる技術協力業務契約締結

## 2. 事業の進捗状況について

## 2. 事業の進捗状況について

### 事業工程について

- 平成30年度から実施計画調査に着手し、令和5年度より建設に着手しました。
- 雨竜第1ダムについては、令和6年度から管理設備工事に着手しました。
- 雨竜第2ダムについては、令和7年3月に堤体建設第1期工事にかかる技術協力業務の契約を締結しました。

雨竜川ダム再生事業工程表

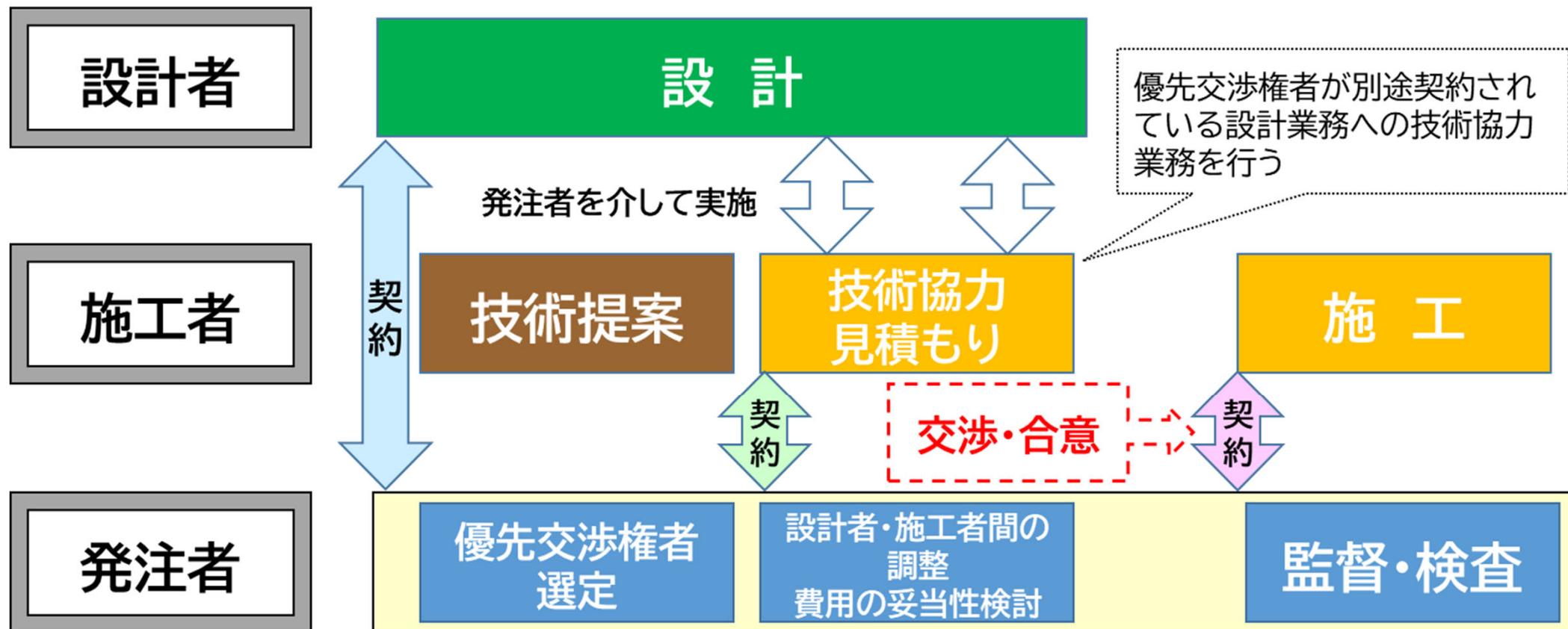
工種	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	
調査・設計	■																
環境調査	■																
仮設工事						■											
本体工事								■									
附帯・補償工事								■									
地すべり対策工								■									
管理設備								■									
試験湛水																	■

※優先交渉権者との施工計画等に関する協議を踏まえ、事業工程の見直しを行う。

## ECI（技術協力・施工タイプ）の採用

- 雨竜第2ダムは約80年前に建設されており、調査では把握しきれないダム堤体の構造に不確実な部分があるため施工時には既設ダムの機能や運用に支障を与えない施工計画を立案することが課題でありました。
- 施工上の課題解決のため、施工計画に施工者の技術・経験を取り入れることが可能となる、設計段階から施工者が関与する方式（ECI方式）の技術協力・施工タイプを採用しました。

## 【ECI(技術協力・施工タイプ)方式の導入イメージ】



# 総事業費及び残事業費

## 総事業費

総事業費	令和6年度まで	令和7年度予算	令和8年度以降の予算
約449億円	約164億円	約27億円	約258億円

※令和7年度予算は当初予算に基づく。

## 令和8年度以降の残事業費

工事費	堤体工事等	約178億円
間接経費	測量設計費等	約56億円
共通経費	工事諸費等	約24億円
計		約258億円

※端数処理のため、合計が一致しない場合がある。

## R7年度予算

## 令和7年度予算

工事費	堤体工、堤体関連工事	約18億円
間接経費	測量設計費等	約6億円
共通経費	工事諸費等	約3億円
合計		約27億円

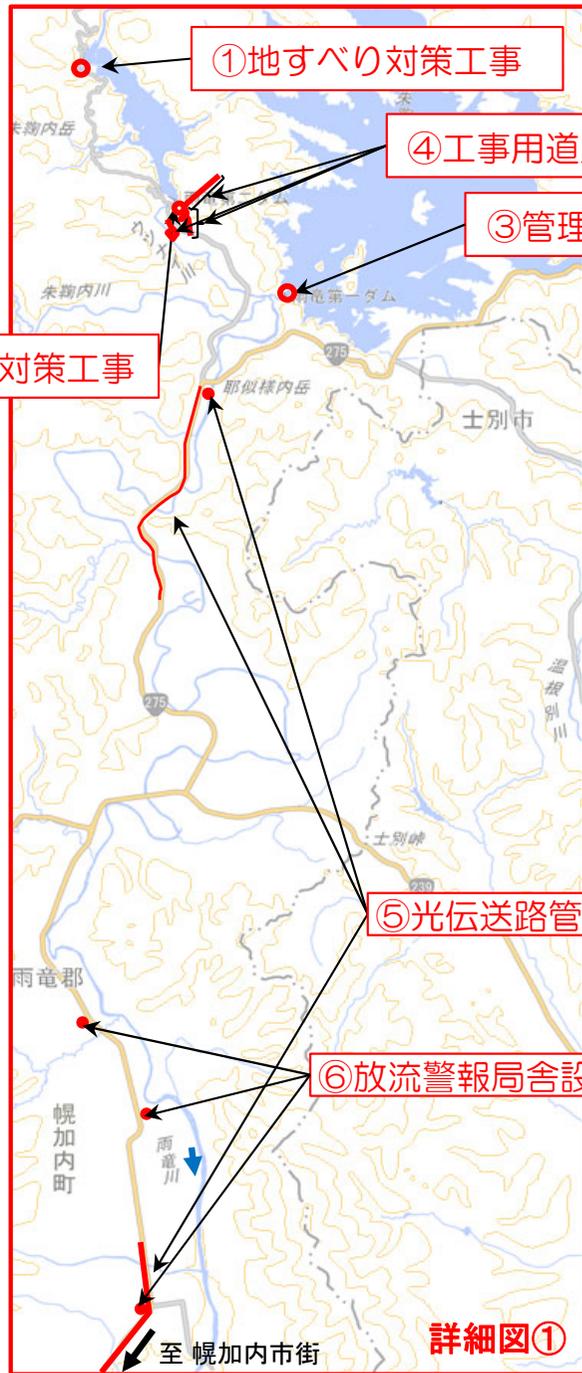
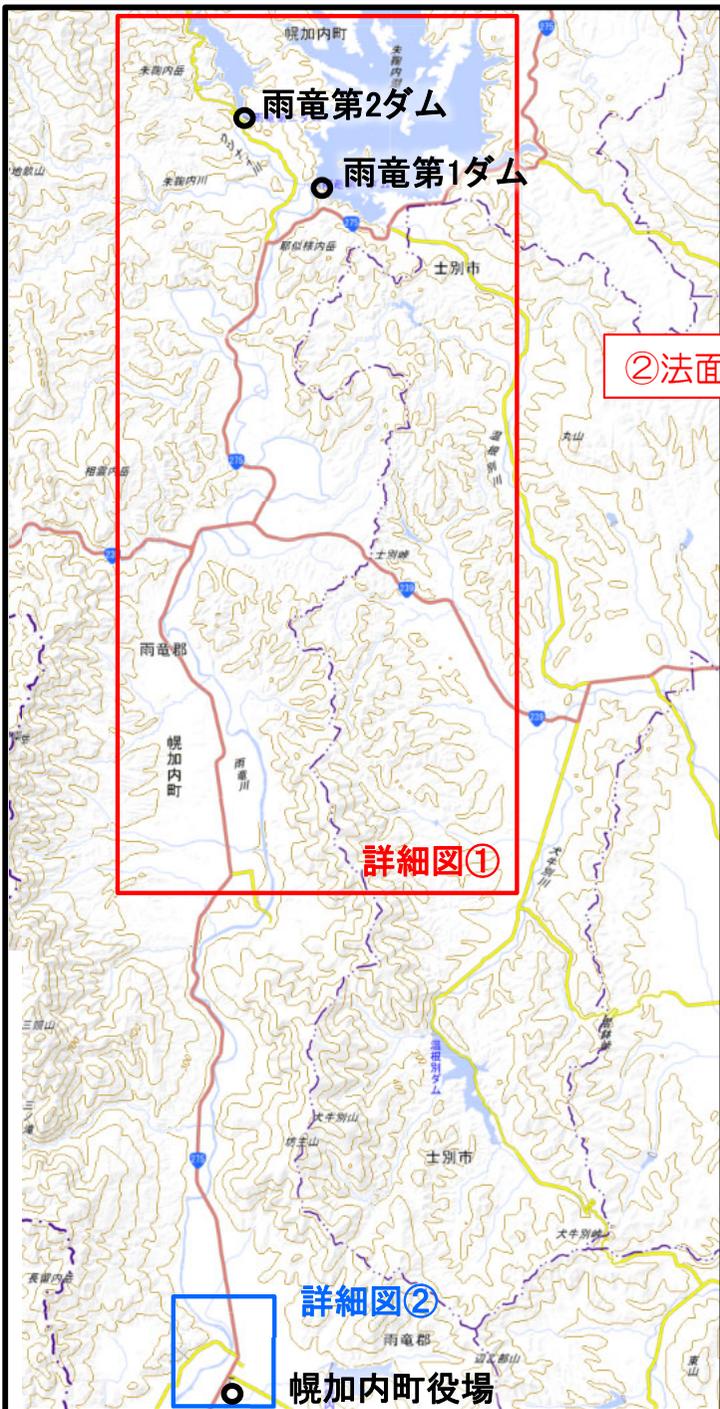
※令和7年度予算は当初予算に基づく。  
※端数処理のため、合計が一致しない場合がある。

## 2. 事業の進捗状況について 令和6年度工事概要



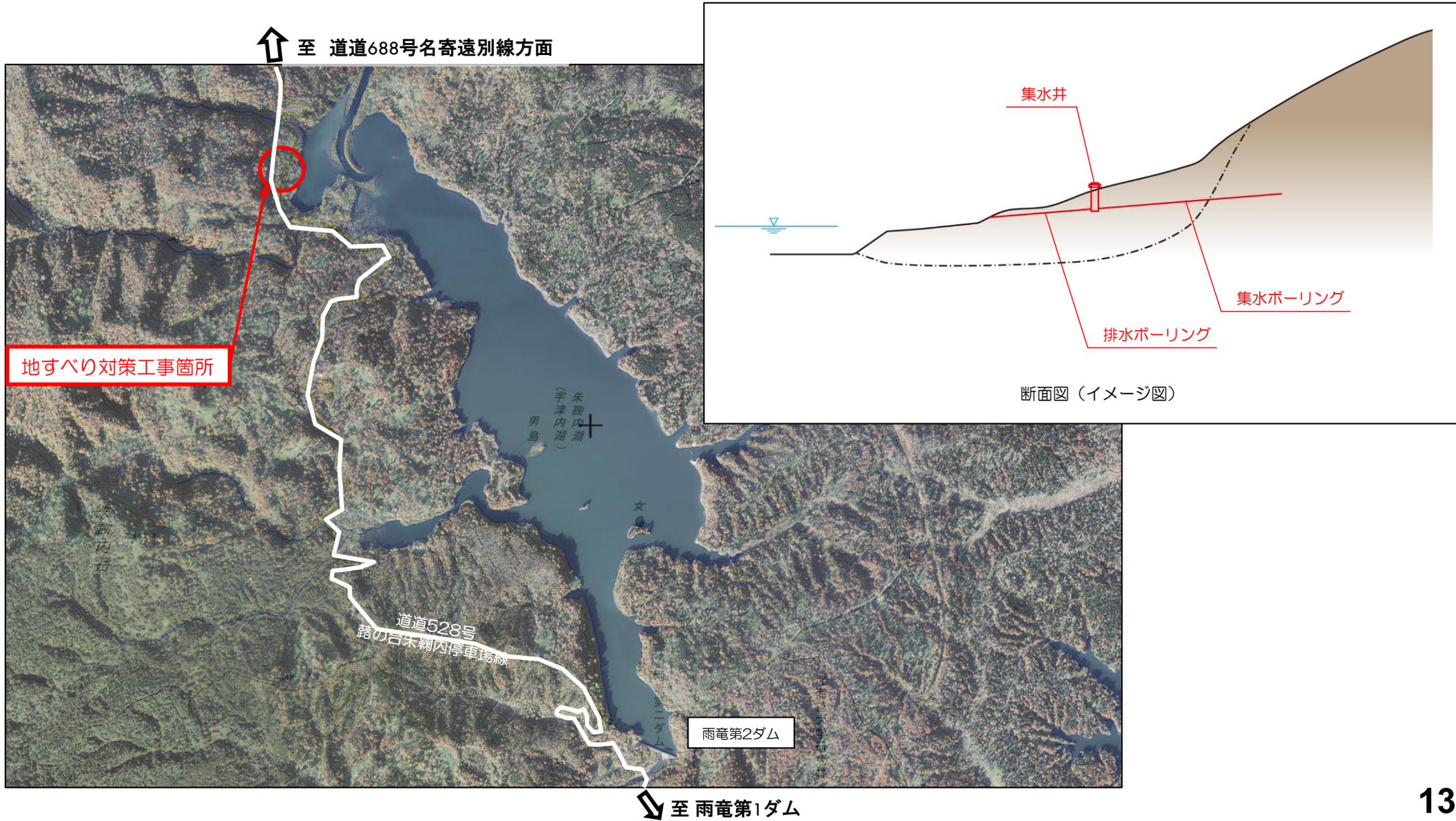
2. 事業の進捗状況について

令和7年度工事概要



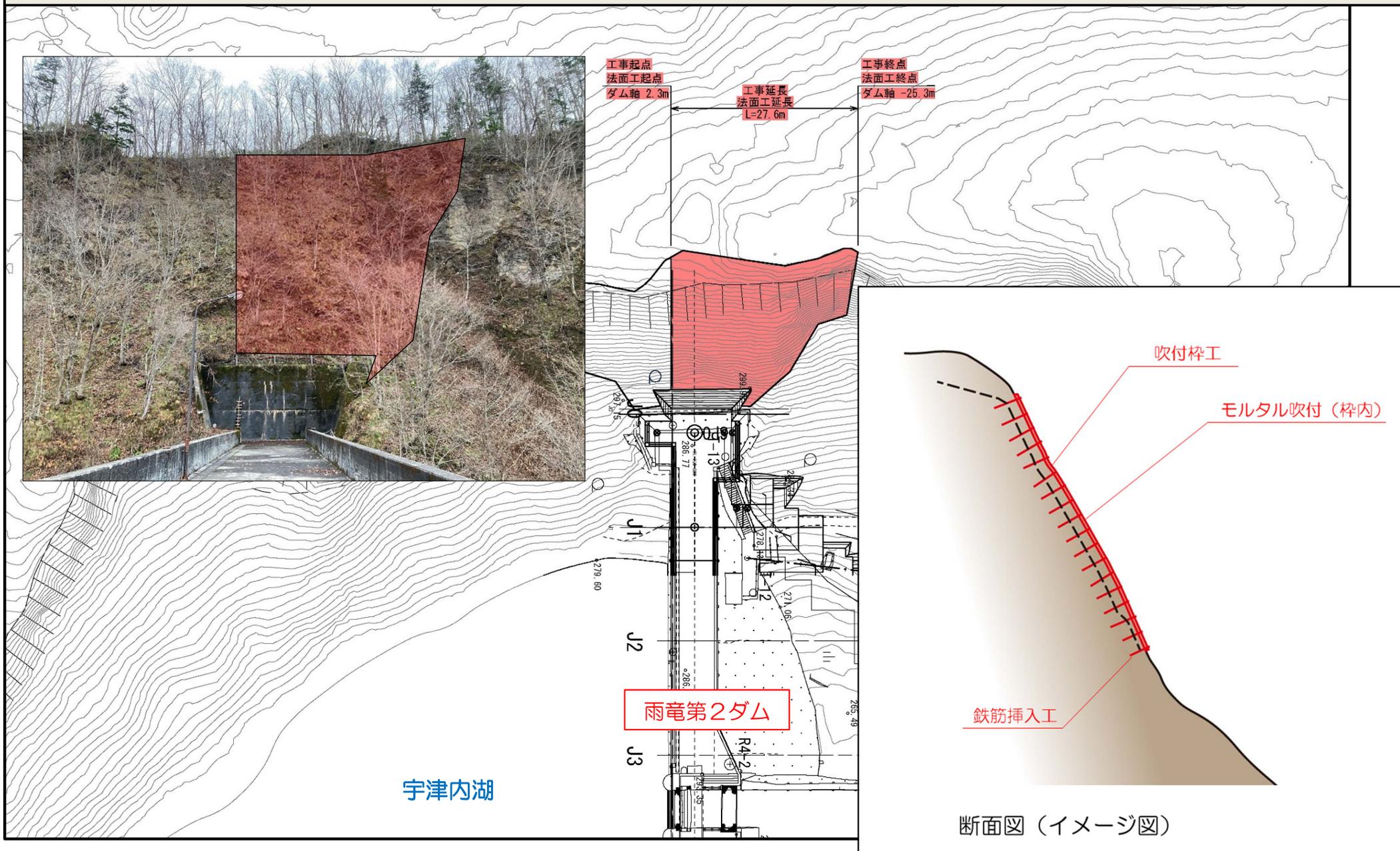
# ①地すべり対策工事

貯水池の影響により地すべりを起こす可能性のある箇所について地すべり対策工を実施します。



## ②法面对策工事

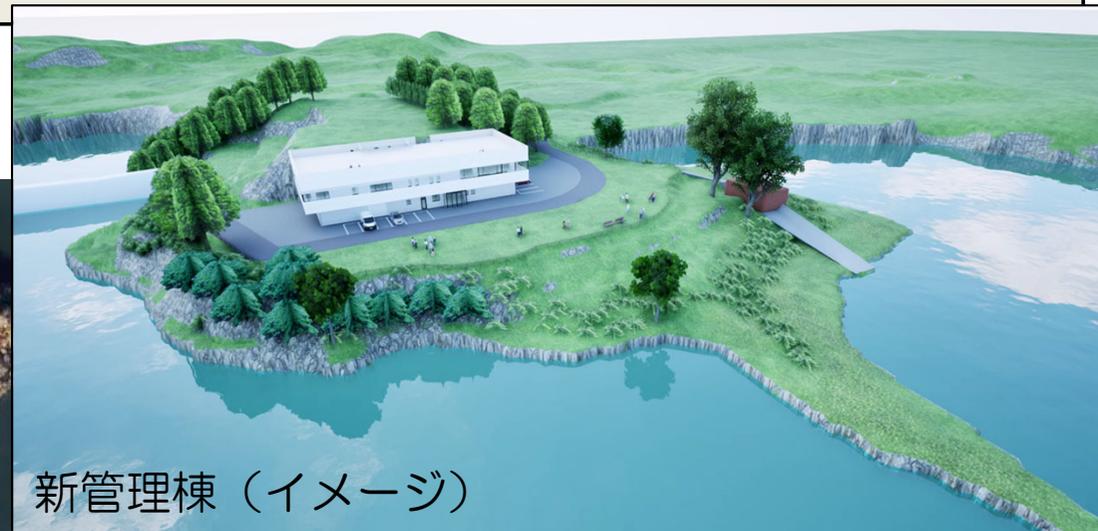
雨竜第2ダムの本體工事着手に向け、本體工事で必要となる落石を防ぐ工事を実施します。



## 2. 事業の進捗状況について

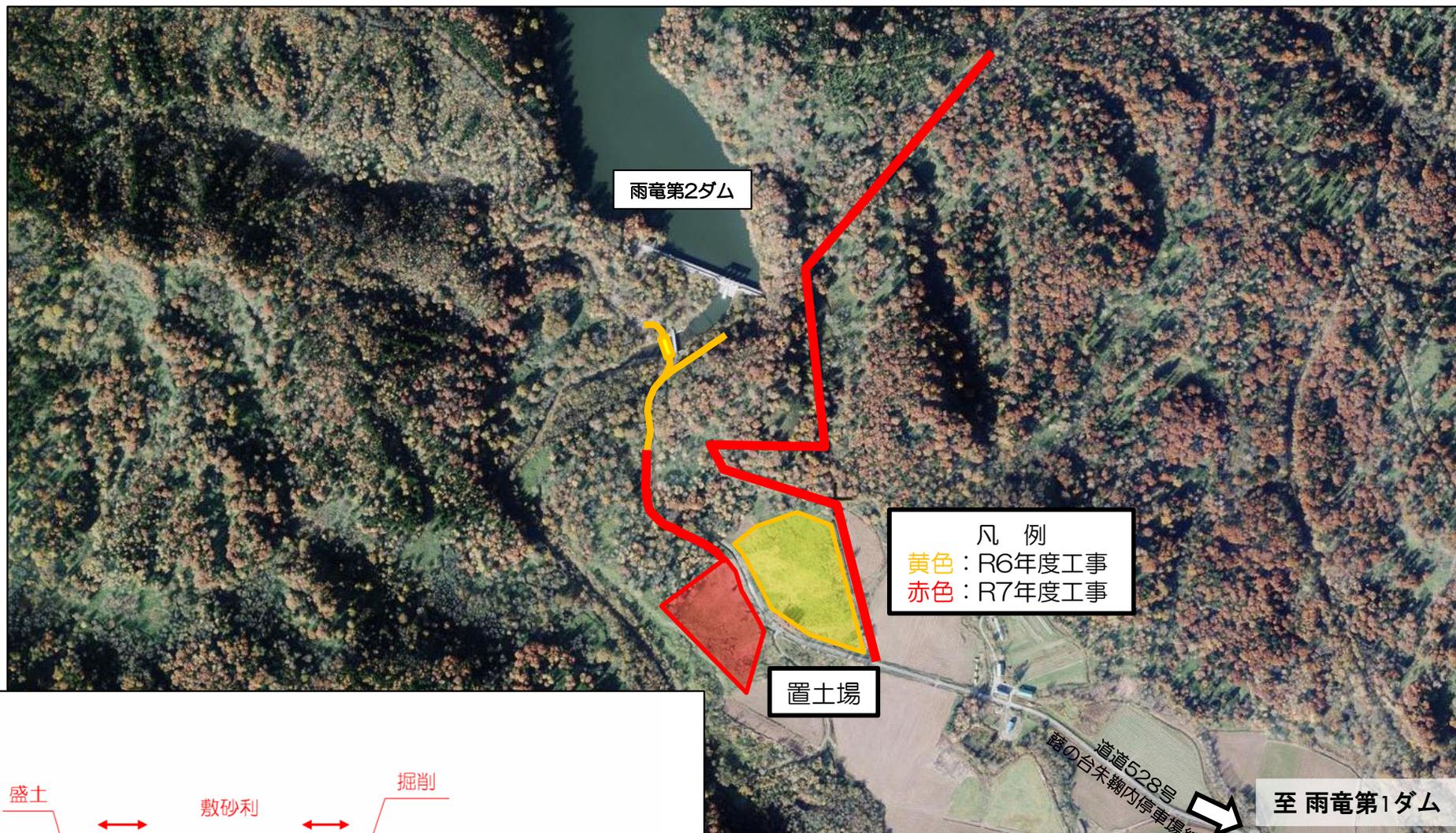
## ③管理棟新築工事

雨竜第1ダムの管理棟を建築します（R7～R8年度）

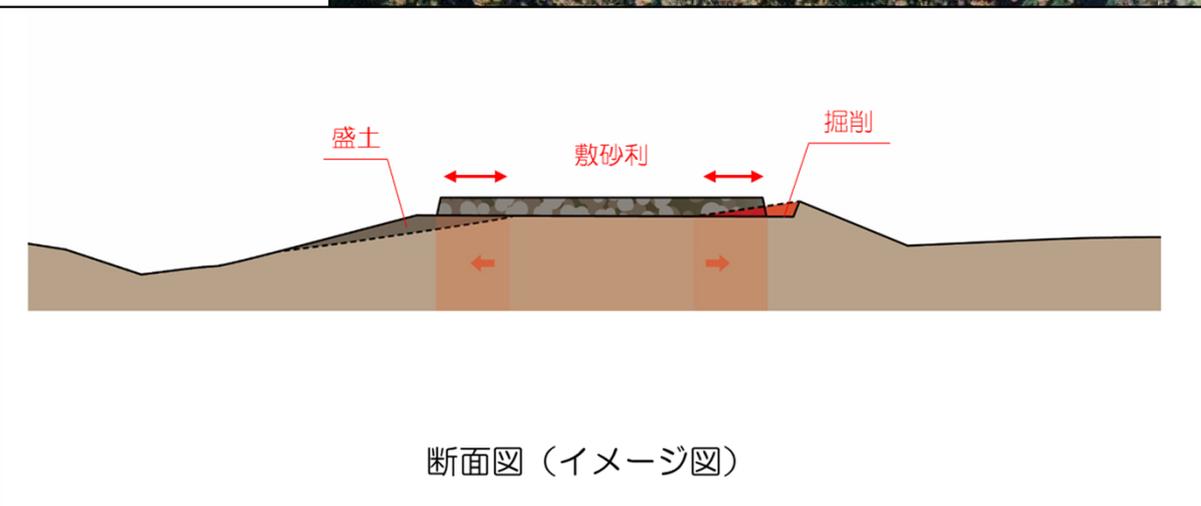


2. 事業の進捗状況について

④ 工事用道路工事



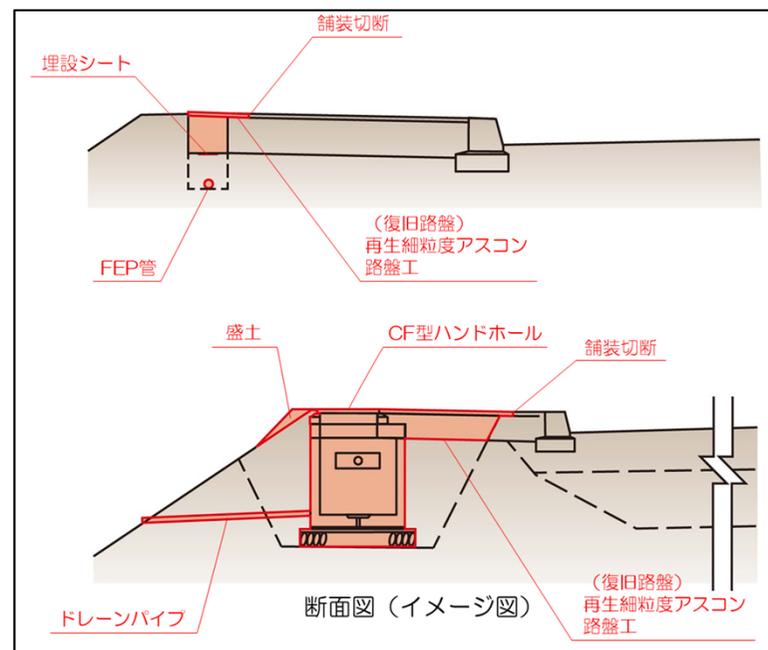
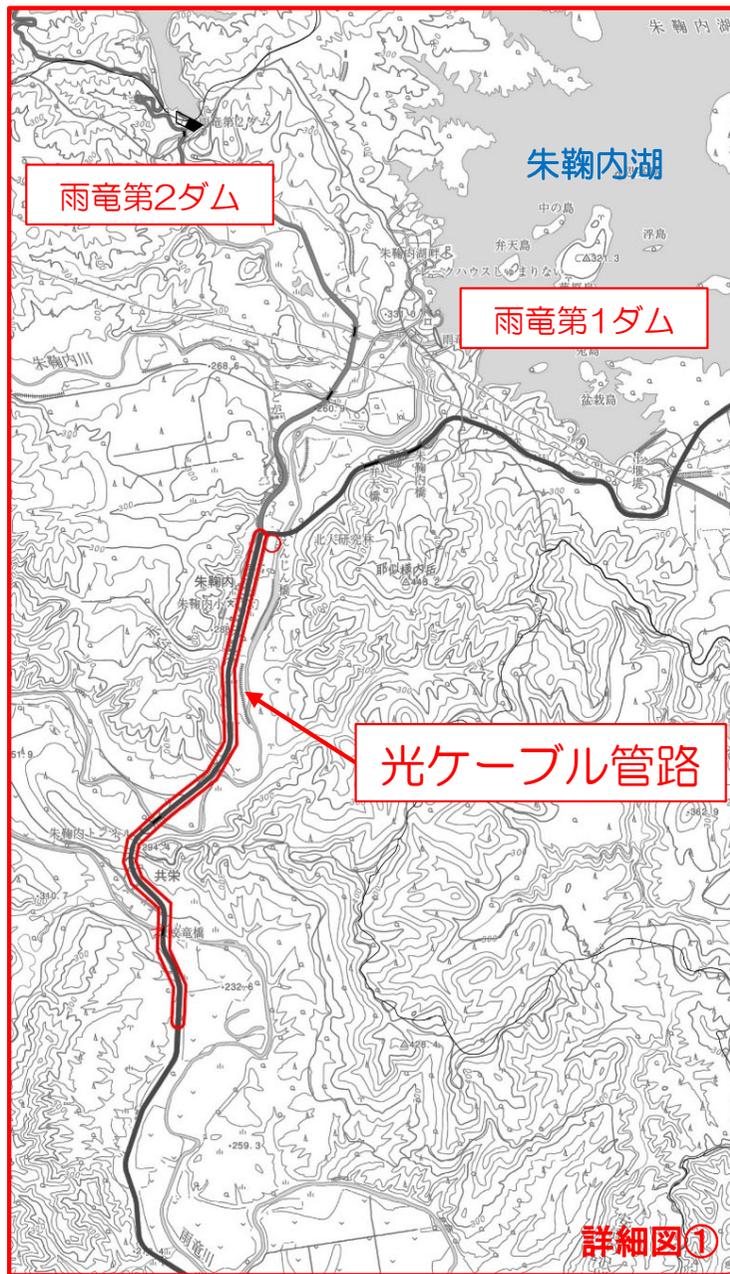
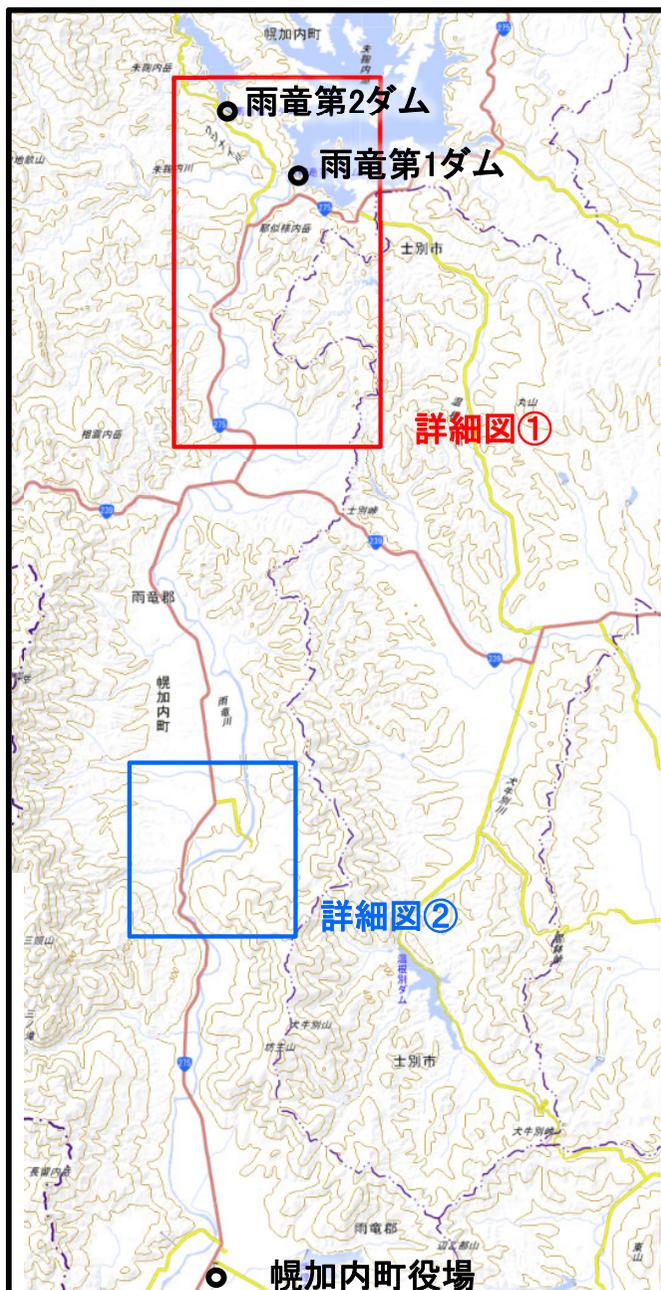
凡例  
 黄色：R6年度工事  
 赤色：R7年度工事



2. 事業の進捗状況について

⑤ 光伝送路管路設置工事

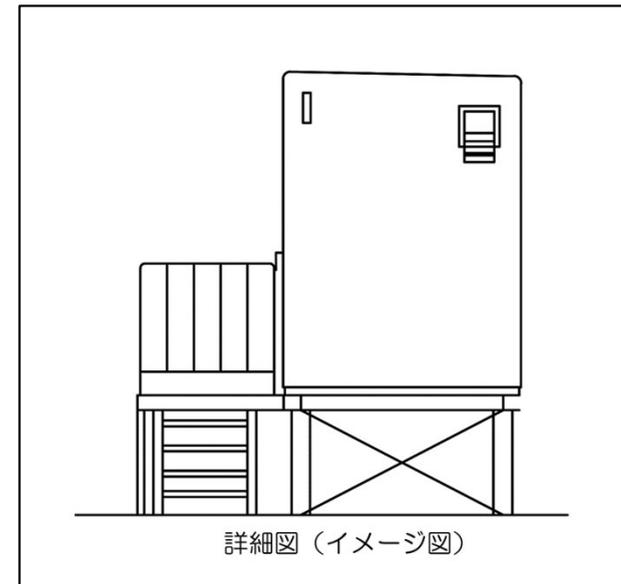
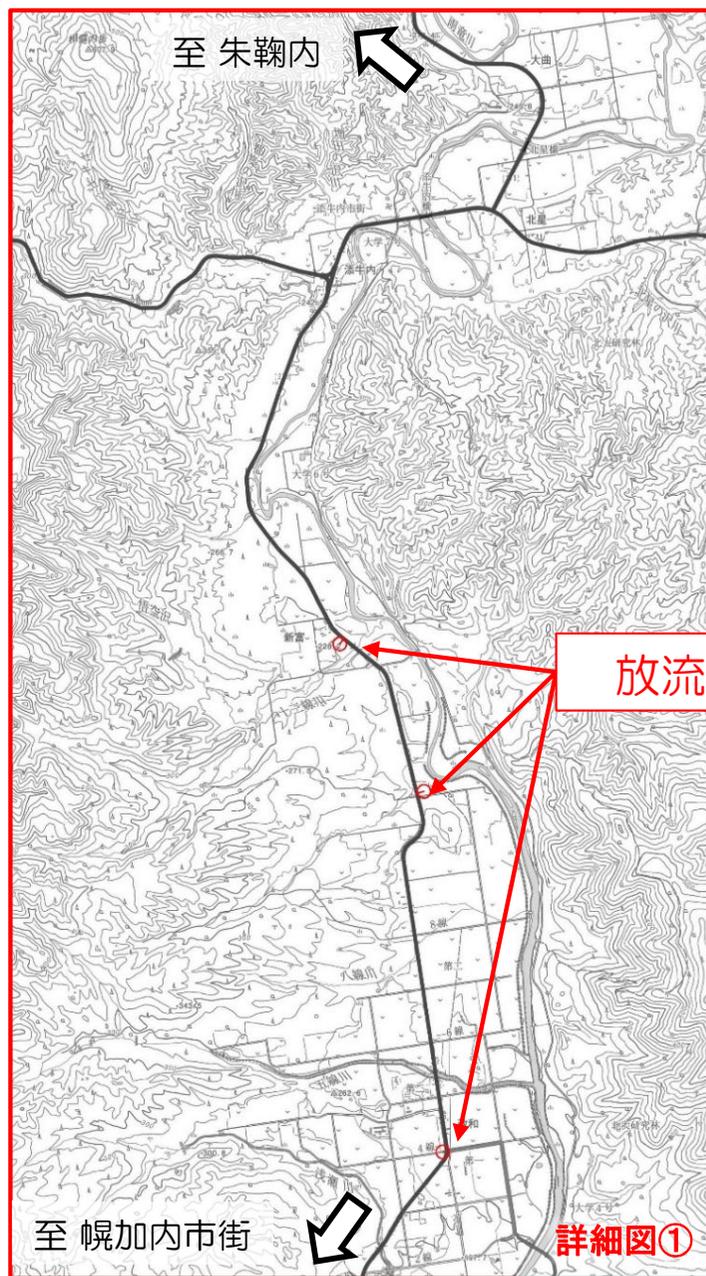
雨竜第1・2ダムの管理に必要な光ケーブル埋設管路を設置します。



2. 事業の進捗状況について

⑥放流警報局舎設置工事

ダム放流時にスピーカーにてお知らせする設備である放流警報局を新設します。

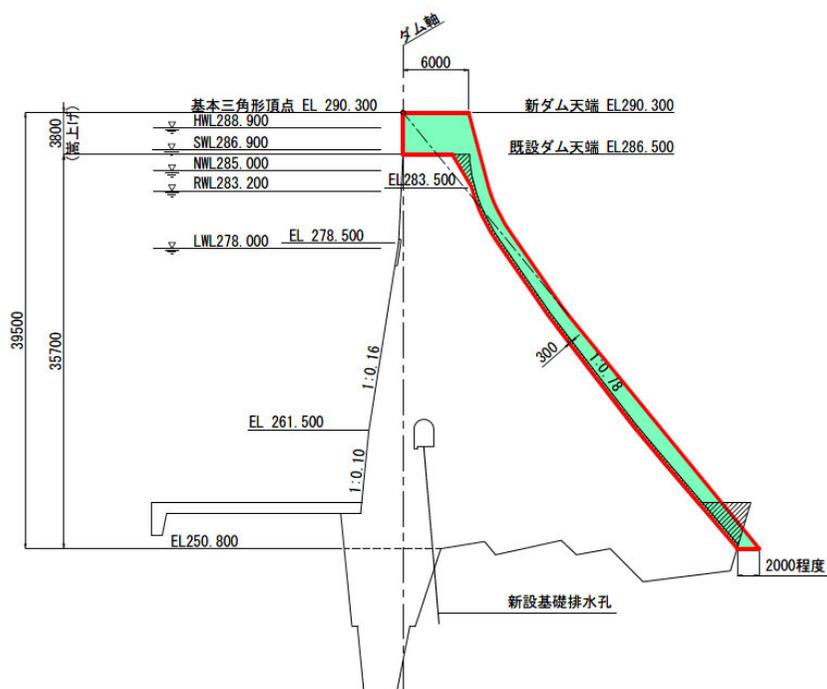


### 3. 事業費・工程に影響を与える可能性がある事象

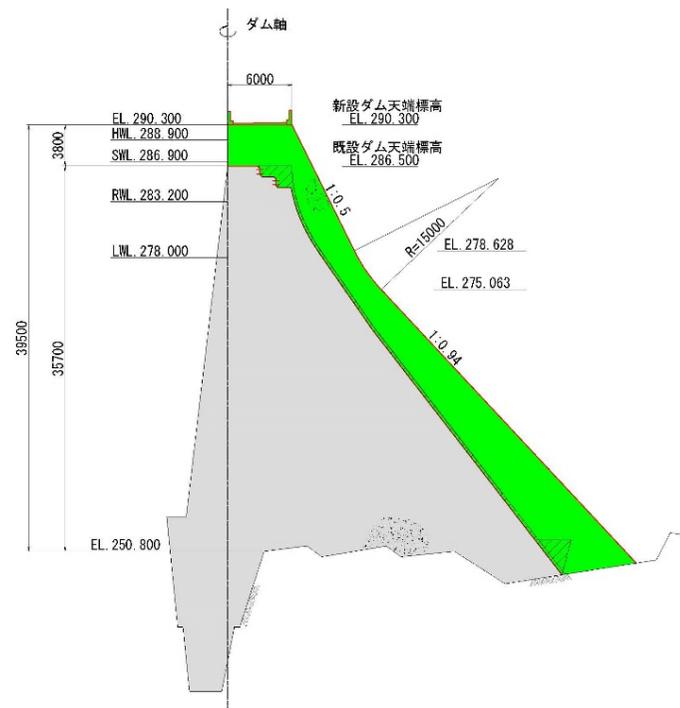
## 嵩上げに伴う堤体形状の変更について

- 雨竜第2ダムでは、嵩上げにともなう堤体形状を、安定性を確保するという観点から令和5年度の実施設計において検討を実施します。
- コンクリートの打継目付近の状況を網羅的に把握し検討を行った結果、堤体の安定性を確保するための堤体下流面勾配について変更したことにより堤体基本形状が変更されました。
- 堤体基本形状の変更により、堤体下流面のコンクリート量が増加することから、事業費の増額が見込まれます。

当初（概略設計）段階の断面イメージ  
[下流面勾配 1 : 0.78 ]

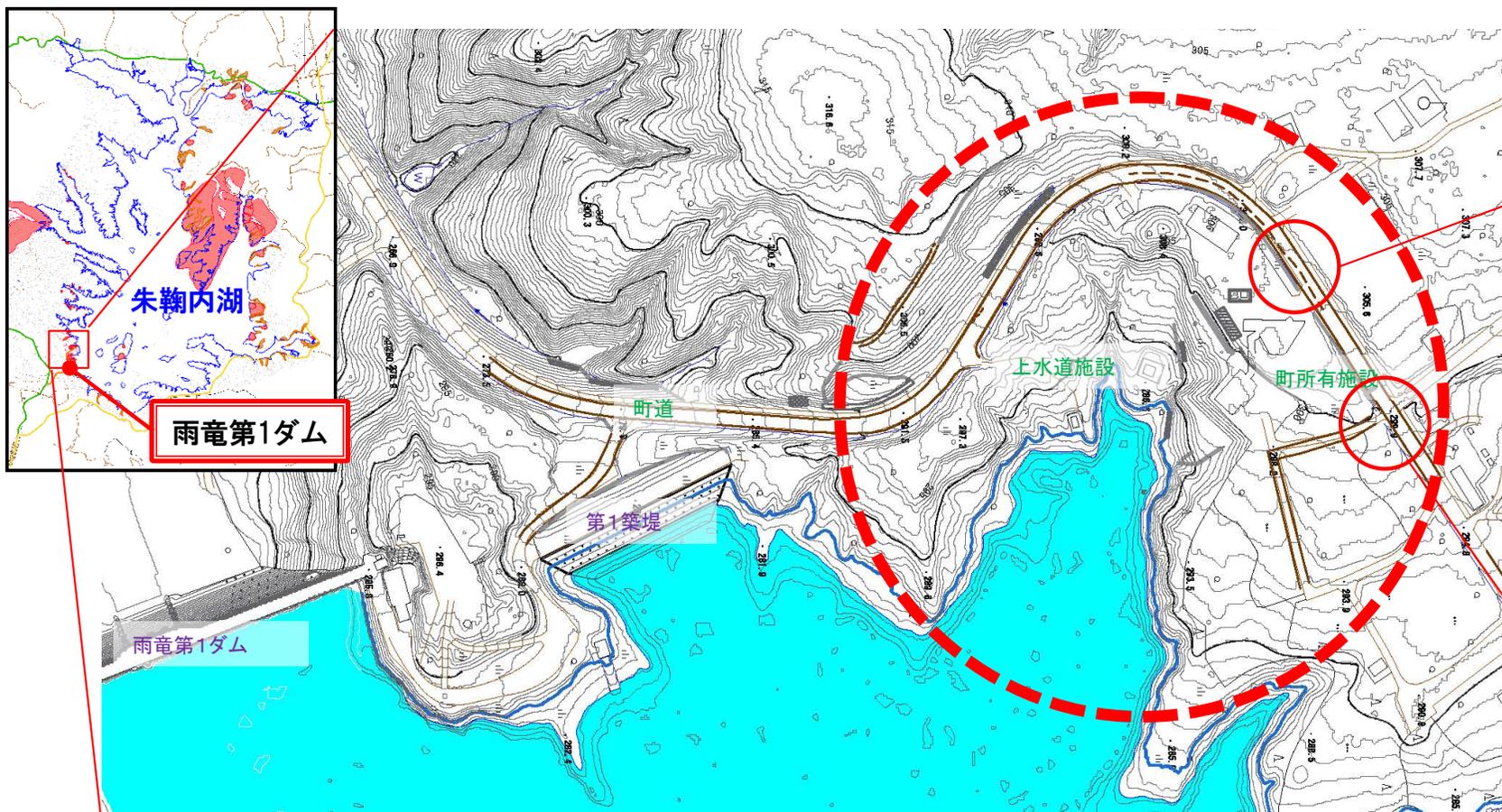


変更（実施設計）後の標準断面図  
[下流面勾配 1 : 0.94 ]



## 貯水池内における地すべりについて

- 雨竜第1ダムの貯水池において、地形図・空中写真の判読、現地踏査による地すべり概査の結果から、地すべり要精査箇所が抽出されました。
- 地すべりの規模として合計79万m<sup>3</sup>程度の大規模区分に相当します。
- 国への管理移行に伴い、洪水調節による影響が考えられることから、R6年度よりボーリング調査を実施中。
- R6年度は、局所的に軽微な変動が発生している箇所を確認。今後も継続観測を行います。



道路の路面に、段差を伴うクラックが確認された。



道路横断クラックが確認された。

### 3. 事業費・工程に影響を与える可能性がある事象 環境影響調査等の実施について

- 本体工事に先立ち、工事による影響が懸念される動植物等の環境調査及び影響予測・評価を実施してきました。
- 環境検討委員会にて調査結果を報告したところ、鳥類重要種の営巣が確認されたことによる詳細な調査、哺乳類・両生類等の種毎の影響予測・評価など、より詳細な調査・検討を行うよう指摘・助言を受けたため、追加調査・検討の費用の増額が見込まれます。

#### ●環境調査における追加調査の増

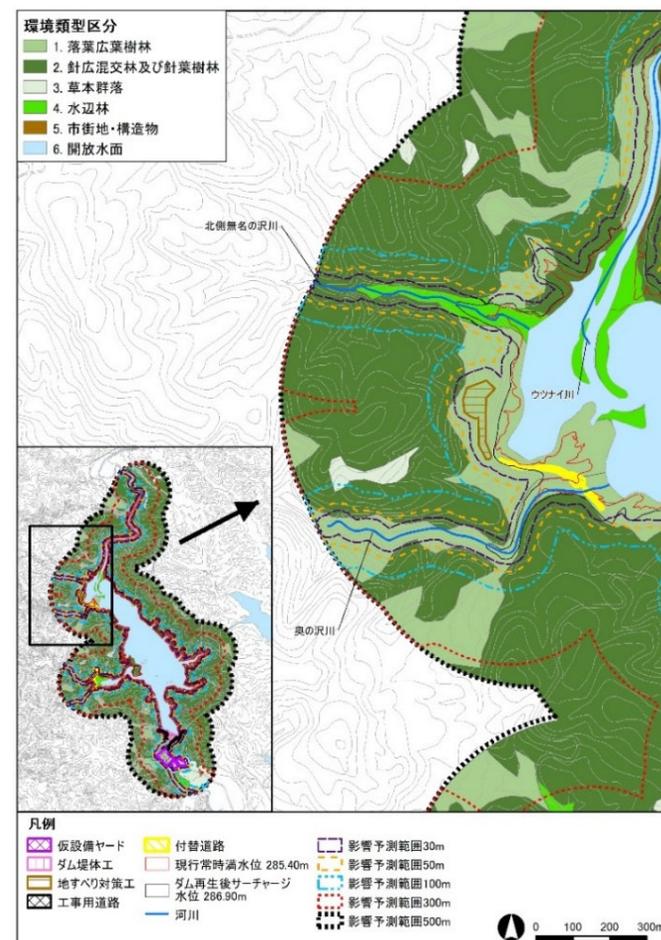


成鳥オス



成鳥メス

重要種鳥類(ミサゴ)の営巣

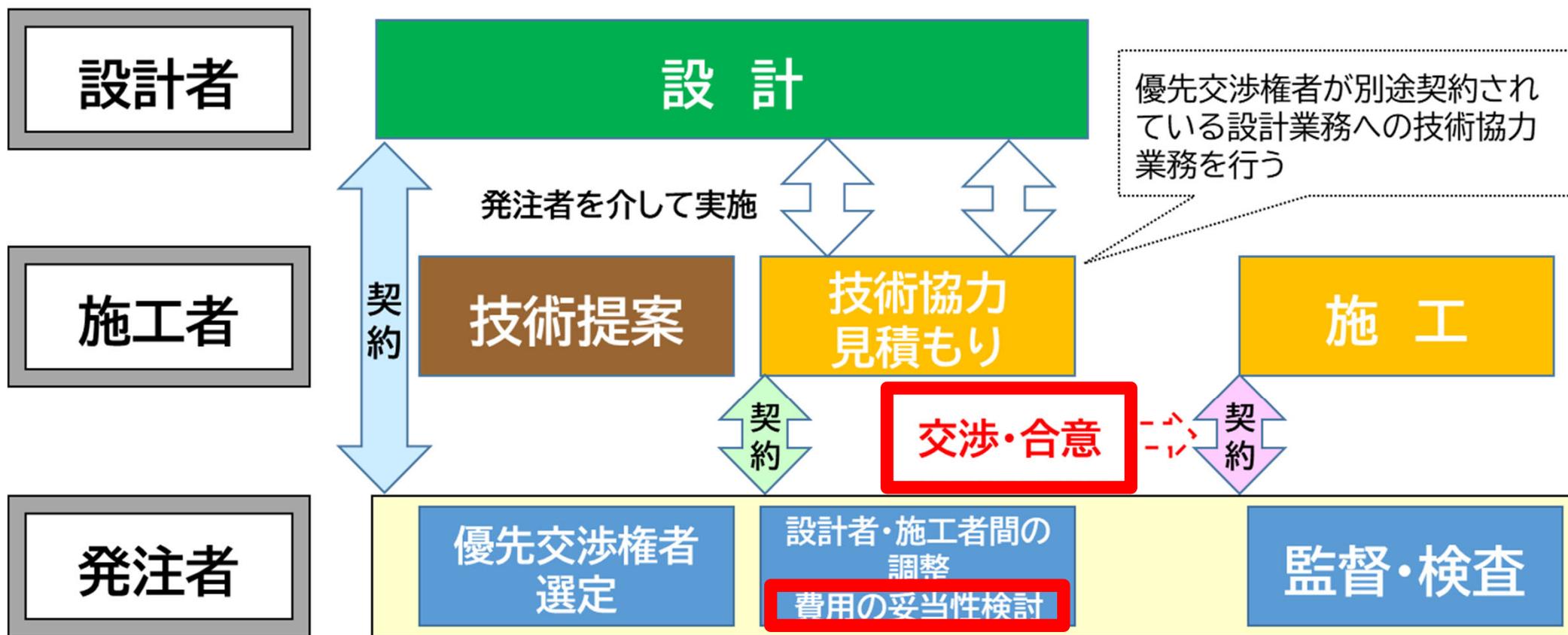


哺乳類・両生類の影響予測範囲

# ECI方式による施工計画変更について

- ECI方式（技術協力・施工タイプ）による本体工事の優先交渉権者と施工計画等に関する協議中。
- 施工計画変更により工程に影響を与える可能性があります。費用の妥当性検討及び優先交渉権者との交渉の結果、事業費に影響を与える可能性があります。

## 【ECI(技術協力・施工タイプ)方式の導入イメージ】

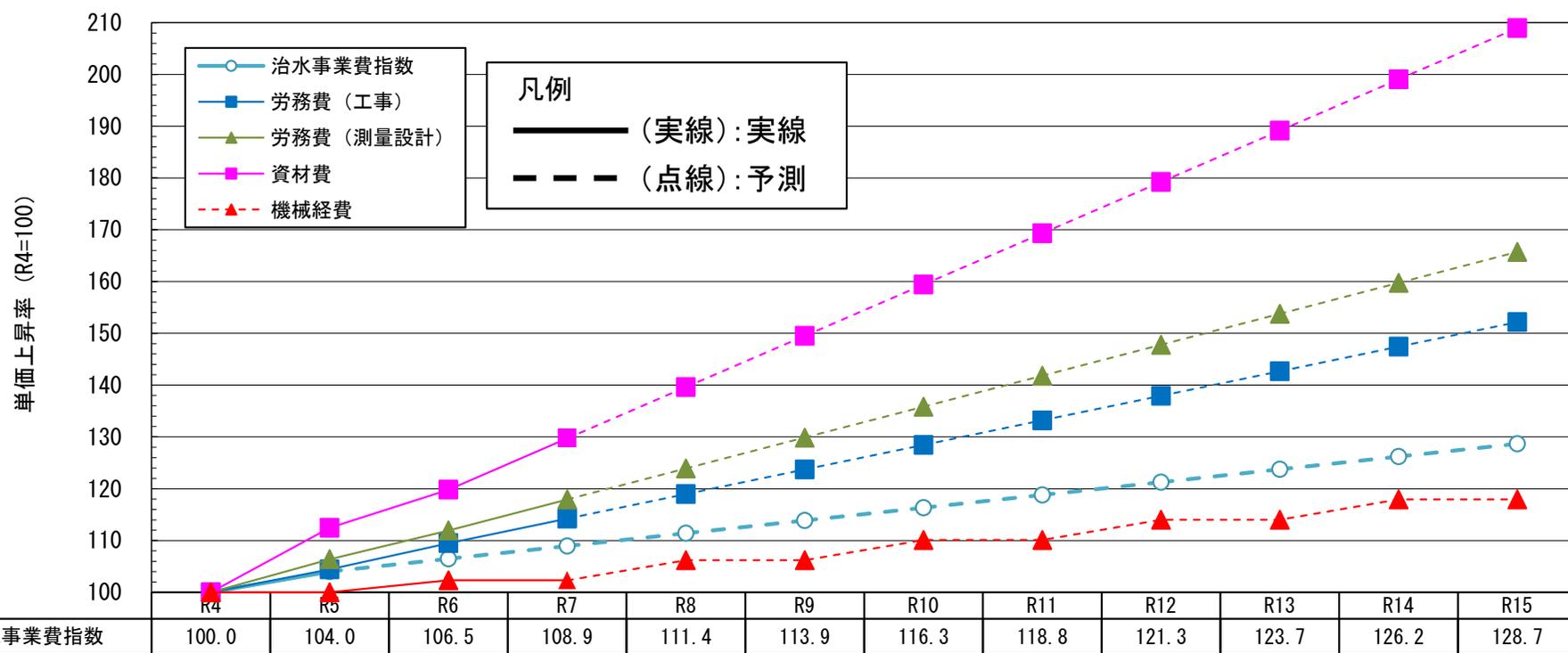


### 3. 事業費・工程に影響を与える可能性がある事象

# 不確定要素について

● 事業費の増額要因である不確定要素に対して、今後も留意しながら事業を進めます。

#### ■ 社会状況の変化による不確定要素(物価上昇)



## 4. 事業費の状況について

## 新規事業採択時評価(R4. 8)後の事業費増減

- 総事業費約449億円の内、令和8年度以降の事業費は約258億円となっています。
- 新規事業採択時評価後、コスト増減について精査を進めているところではありますが、その内、下表のとおりコスト縮減の見通しが立っています。

## コスト縮減の見通しが立っているもの

項目	理由	減額	備考
艇庫の有効活用	・ 既設艇庫を補修して再利用することで新設費用を削減	約0.2億円	R7新規

※そのほか、コスト縮減については整理中



既設艇庫の状況

## 5. まとめ

- 総事業費約449億円の内、令和8年度以降の事業費は約258億円であるが、約0.2億円のコスト縮減の見通しとなり、引き続き、新たなコスト縮減対策として、他ダムで実績のある技術等の採用を検討するとともに、今後、新たに開発される新技術についても随時、本事業における適用を検討し、コスト縮減に努めてまいります。
- ECI方式(技術協力・施工タイプ)により発注を行った堤体建設第1期工事の優先交渉権者と協議を行っており、施工計画変更に伴う事業費・工程への影響に注視します。
- 事業費・工程に影響を与える可能性のある事象について精査を進めるとともに、今後の物価上昇等の不確定要素に注視し、事業費および工程の監理に努めます。

# 見学会の開催(R6年度)

- ・R6年度の見学会の開催状況については、幌加内町朱鞠内自治区・添牛内自治区・母子里自治区の方々を対象に、事業に対するご理解をいただくことを目的とした「雨竜川ダム見学会」をR6年11月10日に開催し、26名の方にご参加いただきました。
- ・R7年度においては、秋に見学会の開催を予定しています。
- ・今後、本体工事の本格化にあたり、対象範囲を広げた見学会やインフラツーリズムなどの見学ツアーの開催を検討しています。

令和6年  
11/10(日)  
13:00~

**雨竜川ダム  
見学会開催のお知らせ**

雨竜第1ダム

雨竜第2ダム

**対象**

朱鞠内自治区  
添牛内自治区  
母子里自治区

**ご案内**

朝晩が肌寒く感じられる季節となっております。  
日頃より国土交通省の事業に、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。  
さて、雨竜川ダム建設事業所では、今年も地域の皆様にも雨竜第1ダム、第2ダムをご覧いただきたく、見学会を開催いたします。今年はダムの内部もご案内する予定です。  
つきましては、下記のとおり実施しますので、ご都合のつく範囲でご参加いただければ幸いです。

**開催日時** 令和6年11月10日(日) 13時00分から15時00分

**対象** 朱鞠内自治区・添牛内自治区・母子里自治区

**タイムスケジュール**

13:00 集合

13:00-13:15 移動

13:15-14:00 雨竜第1ダムの見学

14:00-14:15 移動

14:15-15:00 雨竜第2ダムの見学

**集合場所**

幌加内町役場  
朱鞠内支所  
駐車場

〒074-0742  
北海道雨竜郡  
幌加内町字  
朱鞠内6413

ダムまでの移動手段は、ご自身でご用意いただく必要がありますが、移動手段がない場合は、事前にお問合せ先にご連絡ください。ご準備させていただきます。

**その他**

- ① 事前の申し込みは必要ありませんが、ご参加された方の名簿を作成するため、当日、お名前をいただきます。
- ② 雨天決行いたします。
- ③ ダムの現場は足元がすべりやすくなっており、歩きやすく、すべりにくい靴をご用意ください。
- ④ 汚れてもよい服装でお越しください。
- ⑤ ダムの現場では事故防止のため、担当者の指示に従うようお願いいたします。

**ご注意**

ダム施設内外など徒歩移動(階段の昇り降りを含む)する箇所が多々あります。自力歩行が難しい方への補助などの対応は難しい場合があります。予めご了承ください。  
また、見学会の当日の体調が悪い方や発熱などの異常がある方は、参加をご遠慮ください。

お問い合わせ先：雨竜川ダム建設事業所(山本・矢萩) Tel：0125-76-2156

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 雨竜川ダム建設事業所



R6年度雨竜川ダム見学会の開催状況